

表3 底質・底生生物調査結果

		B-1	B-4	B-5	X	Y	基準	
強熱減量[%]	6月	11	10	7.3	-	-		
	8月	9.8	10	8.3	10	9.7		
酸化還元 電位[mV]	6月	13	-3	88	-	-		
	8月	-133	-62	-47	-163	-126		
COD(アル加法) [mg/g-dry]	6月	21	20	7.5	-	-	20	水産用水基準
	8月	23	19	6.8	21	25		
硫化物 [mg-S/g- ]	6月	0.24	0.27	0.09	-	-	0.2	水産用水基準
	8月	0.35	0.46	0.20	1.00	1.00		
シルト+粘土 [%]	6月	78.9	73.9	8.0	-	-		
	8月	71.7	67.8	22.1	82.7	94.7		
マクロ <sup>ネ</sup> トス種類 数	6月	13	17	34	16	-		
	8月	0	6	11	2	6		
マクロ <sup>ネ</sup> トス個体 数[個体/m <sup>2</sup> ]	6月	2,070	1,090	2,718	916	-		
	8月	0	126	395	79	190		
マクロ <sup>ネ</sup> トス湿重 量[wet-g/m <sup>2</sup> ]	6月	79	62	1,258	106	-		
	8月	0	3.2	257	2.1	2.5		

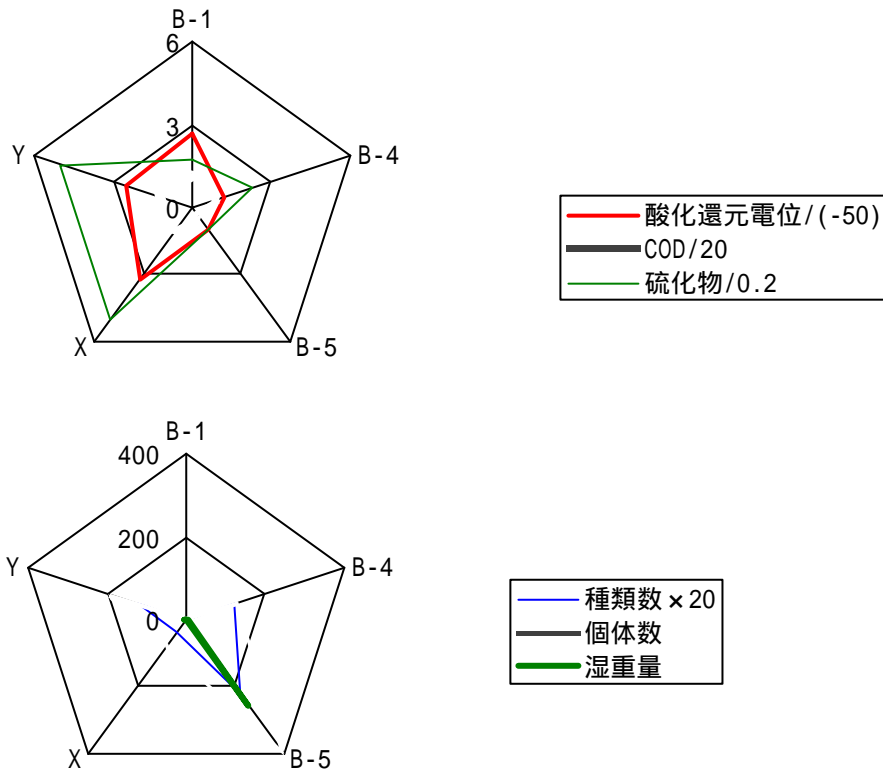


図2 底質(上)・底生生物(下)水平分布(8月23日) ... COD及び硫化物は図1と同様。酸化還元電位に関する図の数値は大きいほど還元状態にある。下図は数値が大きいほど底生生物が豊富であることを示す。